

二川宿转显み通信

第38号 令和7年9月1日 発行: '二川宿'まちづくり会 大岩町東まちづくり会

大岩中まちづくり会

協力: 豊橋市都市計画課

大盛況 ◆ 第 11 回'灯籠で飾ろう二川宿'開催される!







、5年ぶりに開催された盆踊り(商家駒屋駐車場)

7月26日(土)、第11回灯籠で飾ろう二川宿(主催:NPO 法人二川宿「灯籠で飾ろう二川宿」開催実行委員会)が開催されました。

江戸時代の面影が残る旧東海道のまち並み約1.5kmの沿道に、約3千個の手作り灯籠が飾られ、訪れた人々は、幻想的で情緒あふれる街道の雰囲気を味わっていました。

平成24年から始まった灯籠まつりは、コロナ禍で3年間中止の時期があり、第9回は規模を縮小しての開催でしたが、実行体制の変化や新企画により、今回は過去最高の2万人の来場者となりました。

◆ インタビュー : 実行委員会のお二人(NPO 法人二川宿 副理事長)に思いを聴きました!



▲ 実行委員会会長 児玉和久さん

子どもたちをはじめ、みんながま ちに誇りと愛着を持てるようなまち づくりをしていきたいです。

多くの方に二川宿のことをより知ってもらえるよう、お祭りなどの活動を通じて、地域の歴史・文化の情報発信をしていけたらと思います。



▲ 実行委員会幹事 菰田宏隆さん

まちづくりの活動も少しずつ協力 者が増え、一人ひとりが主体性を持って考え、取り組むようになり、共に 成長させてもらっている気がしま す。

みんなでまちづくりに取り組み、 まち並みや歴史・文化を持続可能な 形で、将来に繋いでいけるようなコ ミュニティをつくっていきたいです。

● 今年の灯籠まつりの感想は?

- ★ 大変多くの方にお越しいただき、二川の外から来る方も多く、 皆さんが待ち望んでいるお祭りなんだと改めて感じました。ま た、ご協力いただいた方一人ひとりが、役割と責任を持って取 り組むことで、素晴らしいお祭りになりました。皆さんのご理 解とご協力で、盛大なお祭りを開催することができ、大変感謝 しています。
- 新企画の「中・高生灯籠コンテスト」への思いは?
- ★ 子どもたちが中心のお祭りになるよう、中高生を対象にした新 しい取り組みを企画しました。灯籠の良さを活かした 42 基の 力作の応募がありました。美術に携わる先生方を審査員にお招 きし、審査結果は、二川八幡神社の展示で発表しました。来年 もより良い企画となるよう、工夫していきたいと思います。
- 今後の灯籠まつりへの思いは?
- ★ 毎年、新しいことを取り入れながら継続・発展させていきたい と思います。参加者がやりたいことを実現でき、やりがいを持 てるお祭りにしたいと考えています。また、気軽に参加できる ようにして、協力者を増やしていけたらと考えています。

活気ある二川宿を目指し、まちづくり会も祭りに参加!

二川宿まちづくり会



灯籠まつり では夜店を出 店し祭りを盛り 上げました。

また、8月9 日(土)には、商

家駒屋で開催した「駒屋の夜店」 にも出店しました。

これら2回の夜店は、子供た ちに夜店文化を伝えることを、 若い世代に受け継いでもらうよ う、東町若連に運営主体となっ てもらい開催しました。

誰かがやってくれるのではな く、率先してイベント開催に参加 される二川宿であってほしいで す。



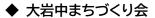
◆ 大岩町東まちづくり会

大岩町の氏神である大岩神明宮は、 街道より奥まった所に構えており、二 川宿を往来する人々を見守っていま す。いよいよ日差しも西に傾いたころ、

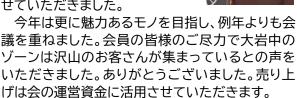
神明宮前の街道から東の方角を眺めると、西の枡形に 至る400メートル程の真っ直ぐな街道に、両端狭しと 様々な灯籠が列を成し、明るく揺らいでいました。

この灯籠まつりで二川宿を訪れる人々は年ごとに増 え、夏の風物詩となっています。

さて、11月2日(日)は「大名行列」。私達、大岩町東まちづくり会は、毎年「手作 りアクセサリー」「木工品」「手作り陶器」などを格安で販売しており、今年も見物 客に喜ばれるように、頑張るつもりです。



灯籠まつりでは、生ビール、レモ ンハイ、ラムネ 唐揚げ、団子の販 売と Jazz ライブの演奏で参加さ せていただきました。



今後も、もっと活気ある灯籠まつりになるように 協力させていただきます。









8月14日(木)、15日(金)に、豊川河口の前 芝町で、第11回前芝川灯ろうまつり(主催:前芝 川灯ろうまつり実行委員会)が開催されました。

前芝町は、江戸時代に湊として栄え、日本各 地へ物資を運ぶ廻船や、お伊勢参りの旅人たち の乗る参宮船が発着した場でもあります。いま でも、湊や漁村の面影を感じるまち並みが残っ ています。

江戸時代に東海道を通じて栄えたまちという ▲ 実行委員会会長 点で、二川宿とは兄弟のようなまちですね。



加藤正敏さん (みなと塾代表)



このお祭りは、地域の盆踊りを盛り上げるため に始めたのがきっかけで、「第4回灯籠で飾ろう二 川宿」と同じ年に、みなと塾の主催で初めて開催し

今年から前芝町自治会と連携し、実行委員会と して開催できることになり、子どもたちにも手伝っ てもらいながら、地域みんなで祭りを盛り上げて います。

今後、二川宿の方とも交流し、お互いのお祭りや まちづくりを高め合っていけると良いと思います。